

通 教 月 報

診 療 情 報 管 理 研 究

令和 8 (2026) 年 6 月号

編 集 武田 隆久
発 行 人
〒102-8414 東京都千代田区三番町 9-15
一般社団法人 日本病院会 事業部教育 1 課
TEL 03-5215-6647 (受講生専用)
FAX 03-5215-6648 (受講生専用)
URL <https://jha-e.jp/>
受付時間 10:00~17:00
(ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)
発 行 日 毎月 1 日

変革期における診療情報管理士の役割 — 医療の質を支える専門職の現在と未来 —

高橋 文

日本診療情報管理士会 副会長 教育委員会 委員長
北海道情報大学 医療情報学部 医療情報学科 学科長 教授

診療情報管理士は、「正確な診療記録を通じて医療の質と安全を支える専門職」として、いま改めてその存在意義が問われる時代にあります。電子カルテの普及や医療 DX の進展により、その役割は単なる記録管理にとどまらず、医療情報の利活用と質の保証を担う中核的機能へと進化しています。

今日の医療において、診療情報の適切な管理は、患者の安全確保のみならず、医療機関の経営や地域医療連携を支える基盤にほかなりません。DPC データの精度向上、診療録監査、がん登録、医療の質評価指標の分析など、多岐にわたる領域において診療情報管理士が果たす役割は極めて大きく、これらの基盤となる「信頼できる医療情報」の品質確保は、専門職としての重要な責務です。

一方、医療現場では人材不足や業務の高度化が進行しており、取り巻く環境は大きく変化しています。とりわけ、生成 AI や RPA (Robotic Process Automation) といった新技術の導入は、業務効率化を大きく進展させる一方で、「どこまでを AI に委ね、どこからを人が担うのか」という本質的課題を提起しています。AI が提示する情報の妥当性を検証し、その結果に対する説明責任を果たす主体は最終的に人であり、その中心に位置するのが診療情報管理士にほかなりません。したがって、単なる操作能力にとどまらず、情報の真偽を見極める判断力と倫理観が、これまで以上に求められています。

こうした中、日本診療情報管理士会の活動は、専門職としての資質の維持・向上に大きく寄与しています。各種研修会や学習ライブラリ、令和 8 年度の全国研修会 (テーマ:「変革期の HIM ~ 拡大する業務と新たな役割~」) 等を通じて、制度改正や技術動向、実務上の知見が共有され、現場の課題解決に資する取組が推進されています。さらに、若手育成にも力が注がれ、次世代を担う人材の基盤形成が着実に進められています。

これから診療情報管理士を志す皆さんには、「なぜ記録するのか」「誰のための情報なのか」という根源的な問いを常に意識していただきたいと思います。診療記録は単なる過去の記録ではなく、未来の医療を支える社会的資源であり、その価値は AI 時代においても揺らぐものではありません。

変革期にある今こそ、診療情報管理士は原点に立ち返りつつ、新たな役割を自覚し、その責務を主体的に担っていくことが求められています。医療の質と信頼を支える専門職として、その使命を自覚し、次代を切り拓いていくことを期待いたします。

(お知らせ) 診療情報管理士会の「全国研修会」が 7 月 25 日 (土) に大阪にて開催されます。(後日、録画配信あり)
テーマ: 変革期の HIM ~ 拡大する業務と新たな役割~
ホームページよりお申し込みが必要です。以下より詳細をご確認ください。
日本診療情報管理士会 全国研修会ページ <https://kanrishikai.jp/kensyuukai/all.php>